

2022年度（令和4年度）
学校関係者評価報告書



2023年3月

学校法人帯広コア学園

帯広コア専門学校

2022年度 学校関係者評価報告書

1. 学校関係者評価委員会

- ・開催日時 2023年3月23日(木) 16:30～17:30
- ・開催場所 帯広コア専門学校 23教室

学校関係者評価委員(敬称略)

氏名	所属	属性
辻野 裕義	帯広北高等学校長	高校
武田 光史	帯広商工会議所 事務局長	団体
笹倉 大和	(株)ズコーシャ IT事業部部長	企業
石井 和裕	農業	保護者
南出 雅樹	(有)マミィ 代表取締役	卒業生

事務局

千葉 直樹	理事長兼校長
畠山 晴美	介護福祉科主任
西原 歩	情報系学科主任代理
前田 恭子	歯科衛生士科主任
村川 貴康	事務長

2. 評価対象期間

自:2021(令和3)年4月1日

至:2022(令和4)年3月31日

3. 実施方法、配布資料、公表

学校関係者評価の実施にあたっては、学校関係者評価委員の皆様には「学校自己評価」の結果について事務局より説明し、評価結果に対するご意見をいただきました。いただいたご意見は、本報告書として取りまとめ、今後の教育活動や学校運営の改善に活かし、教育の質向上に努めることとし、ホームページ等に公表致します。

(資料)

- ・2021年度 事業報告資料
- ・帯広コア専門学校 自己評価報告書
- ・学校パンフレット一式

4. 評価基準毎の学校関係者評価

評価項目毎に委員からの評価について報告します。

全員から基準1から基準10まで適切であると評価を受けました。

5. 意見等

- ・各業態の企業も経営が厳しい。
- ・学生の学力差があるだろうが、能力が上の子をどう指導していくのか。
- ・介護系では資格持っているけど働かない人が多い。
- ・聴講制度等もっと細かく公に知らせるなど広報の強化が必要、重要である。
- ・歯科衛生士のイメージを上げたい。
- ・就職先の企業の待遇は子どもたちにとって大丈夫なのか。
- ・経済的に厳しい家庭も増えていくのではないかな。

6. 学校の見解

- ・学校、教育も更なる進化が必要で、理念・目的・育成人材像など適時見直しが必要である。
- ・授業評価に関しては、アンケート実施など少し改善に留まっており、さらに改善して行く。学生の学力レベル差については、個別指導・コミュニケーションを密にとるなどを行っている。学科の資格の他にプラスワンを目指す。
- ・就職率についても、学生一人一人の個性を活かせるよう個別指導に取り組み成果が出ている。
- ・卒業生に関しては、本年度から授業への参加を一部学科で実現できた。今後も更に関係強化を図って行きたい。
- ・コロナ禍で実施できていなかった地域ボランティア活動など地域と連携&再開し、学生との多様なコミュニケーション機会を増やし相互理解を深めたい。
- ・学生による出前授業の開催や学習成果を地域社会へ発信する学内セミナーなど積極的に実施する。
- ・最新のICT技術を学生が学び地域社会へ発信する”Tech Lab 授業”を継続拡大する。
- ・本校で学ぶ専門職の地域社会でのプレゼンスの向上を図り、地域に今後必要とされる人材をしっかりと育てたい。
- ・情報管理に関しては不十分な点もあり、さらに学校データの整理&管理の見直しを進める。
- ・学校施設も地域社会へ広く開放し、学校を地域の人と人、企業と企業をつなぐハブとなるよう活動して行く。